

発達障害は 「成長が止まる」という 意味ではありません

適切なケアと環境によって、
子どもの力が開花する可能性があります。

診断名だけで、その子の未来は決まりません。大切なのは、特性を理解し、困りごとに合った支援を、家庭・教育・医療・福祉が連携して続けることです。

2026.10.10 SAT | 神戸ポートオアシス

第4回 子ども未来サミット in 神戸

主催：株式会社セルパワー

www.kodomomirai.net

「治る・治らない」の二択では捉えません

発達障害は神経発達に関わる特性です。一方、日常生活での困りごとや適応、学び方、コミュニケーションは、成長と支援によって変化し得ます。

診断名 = 能力の限界、ではありません

発達の道筋や得意・不得意は一人ひとり異なります。必要な支援が届くことで、本人の強みが生かされ、学習・行動・社会参加の幅が広がる可能性があります。

1

特性を理解する

行動だけを問題にせず、感覚、注意、言語、見通しの持ち方など背景を理解します。

2

困りごとを具体化する

『発達障害だから』ではなく、いつ・どこで・何に困るのかを丁寧に見ます。

3

環境と関わり方を整える

伝え方、課題量、休憩、睡眠、食事、教室環境などを本人に合わせます。

4

小さな変化を記録する

発語、集中、対人関係、生活習慣などを継続して評価し、支援を調整します。

公的な制度も、個々の特性に応じた医療・福祉・教育的援助を「発達支援」と位置づけ、早期から切れ目なく支えることを重視しています。

一つの方法だけでなく、多面的に支える

子どもの状態は、脳の働き、学び、食生活、睡眠、家庭や園・学校の環境など、複数の要因の影響を受けます。

脳・学びへの支援

本人に合った課題設定、視覚支援、遊び、運動、コミュニケーション支援など。

栄養・食生活

偏食や栄養状態も含め、無理なく続けられる食生活を考えます。必要に応じ専門職へ相談します。

子どもの可能性

休息・生活リズム

睡眠、安心できる休息環境、活動と休憩のバランスを整えます。

家庭・園・学校の連携

同じ目標と記録を共有し、子どもが理解しやすい関わり方をそろえます。

篠浦伸禎医師が進める集学的な取り組み

第4回サミットでは、音響を活用した「Simple集中（瞑想）」、栄養面への配慮、休息・生活環境を組み合わせた実践と、期間中に観察された子どもたちの変化を紹介します。

※これらは標準的な診療・療育を代替するものではありません。各要素の単独効果や因果関係は確立しておらず、今後の継続的・客観的な検証が必要です。

子どもたちの成長を、数値と日常の両面から見る

以下は提供された事例記録の要約です。個人が特定されない形で掲載しています。

事例	観察期間	発達検査の記録	日常生活での主な変化
5歳・ADHD	約3か月	社会性：30か月遅れ → 1.5か月遅れ 言語：42か月遅れ → 24か月遅れ	偏食、集中、対人関係、集団場面、排泄面で変化が報告
5歳・ASD	約3か月	社会性：16か月遅れ → 2か月遅れ 言語：17.5か月遅れ → 6か月遅れ	気持ちの切り替え、挑戦、自己表現、家族との関わりで変化が報告

日常場面で報告された変化

-  発語・二語文が増えた
-  家族や友達への関心が増えた
-  癇癢や多動が落ち着いた
-  集団生活に参加しやすくなった
-  食事・睡眠・排泄に変化が見られた
-  挑戦する気持ちや自信が育った

事例を正しく受け止めるために

これらは対照群を設けた研究結果ではなく、成長、療育、家庭・園での関わり、測定条件など複数の影響を受けます。『治療効果が証明された』ことを意味しません。一方、診断後も発達や適応に大きな変化が起こり得ることを示す、今後の検証につながる貴重な経過記録です。

今日の日が、子どもの未来の「転機」に

ご家族、教育・医療・福祉関係者とともに、子どもの可能性を多方面から考えます。

2026年10月10日（土）13:00-17:00

神戸ポートオアシス・会議室

会場参加／オンラインライブ配信／アーカイブ配信

会場：中学生以上 2,750円・小学生以下無料

オンライン：1,650円



公式サイト

本資料の要点

- 発達障害の診断は、子どもの能力や未来の限界を決めるものではありません。
- 特性そのものと、生活上の困りごと・適応状態は分けて考える必要があります。
- 本人に合った支援、環境調整、家族・園・学校との連携により、成長が促される可能性があります。
- 一人ひとりの経過を客観的に記録し、専門家と相談しながら支援を調整することが大切です。

参考資料

- ・発達障害者支援法（文部科学省） https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/main/1376867.htm
- ・発達障害のある児童生徒等に対する支援事業（文部科学省） https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/main/006/r07/1420861_00003.htm
- ・発達障害者等への早期発見・早期支援（厚生労働省） https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?datald=83ac0954
- ・Autism spectrum disorder in under 19s: support and management (NICE CG170)
- ・Clinical Practice Guideline for ADHD in Children and Adolescents (AAP, Pediatrics 2019)